

 評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ケアする力

[22-新人] 小児の救急蘇生の基本 小児一次救命処置（PBLS : Pediatric Basic Life Support）

1. 小児の一次救命処置（PBLS）における下記の項目について、一人法と二人の違いを踏まえて説明してください

- ① 「脈拍触知の部位と名称」
- ② 「胸骨圧迫の方法」
- ③ 「胸骨圧迫と人工呼吸の比率」
- ④ 「胸骨圧迫の深さ」

小児の一次救命処置場面に遭遇する機会は、あまり多くありません。しかし、ひとときひとたび遭遇した時には場合には確実な知識とスキルを求められるため、日ごろからスキル維持しておくことが必要です。その1つとして、動画を通して得た知識を発話したり他者へ説明したりして、自らの理解度を確認する方法があります。具体的には、乳児、小児の一人法・二人法による方法とその違いについて、「脈拍触知の部位と名称」、「胸骨圧迫の方法」、「胸骨圧迫と人工呼吸の比率」、「胸骨圧迫の深さ」について説明できることを評価の視点とします。

2. あなたの施設で、一次救命処置を必要とする場合の急変時対応システム（連絡先、方法、資料の場所等）が、平日・夜間、それぞれにどうなっているかを確認しましょう（Ex.入院病棟、病院敷地内で発見した場合など）

蘇生には、スキルだけでなく、組織の急変対応システムを理解しておく必要があります。院内のマニュアルに沿った急変対応システムと行動を口頭で説明できるか、説明できない場合は、何を確認したら良いか理解できているか確認が必要です。